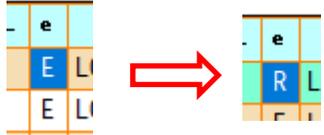


E Q S L マニュアル

[ページ - 2](#)



eQSL 画像取込 処理

EQSL [R] 受領処理

左ボタンクリック時
自動QSL未発行処理

[ページ - 11](#)

[ページ - 3](#)

直接送信

ADIFファイル

eQSLヒット局QSL未発行

[ページ - 12](#)

[ページ - 4](#)

QSO登録の都度自動送信

eQSL.cc 接続

[ページ - 13](#)

自動追加登録 廃止も IP確認無

[ページ - 5](#)

ADIファイルからの一括取込

画像一括取込処理

[ページ - 14](#)

[ページ 6 ~ 9](#)

未送信データ抽出
ADIFファイル作成

eQSL送信時のコメント

Thanks Nice QSO 73 CU AGN

[ページ - 16](#)

[ページ - 10](#)

画像表示可能ボタンの例 ページ - 15

コールサインの一致を確認後 **EQSL [R] 受領処理** ボタンをクリックでカレント行の **e** 欄を **R** にします。

ゾーン	T	R	L	e	備考1
EU-14	/			R	LOTW=OK
AS-17				E	LOTW=OK BORN=1!

また、 **左ボタンクリック時自動QSL未発行処理** のチェックがあると Q S L 発行欄に [/] を入力します。

チェック方法

e Q S L のインボックスで確認します。

確認後処理欄にチェックを入れ **Move checked eQSLs to ARCHIVE** 確認送信します。

未読のeQSL

検索条件==>	-	-	-	GERMANY	-	-	-	
処理	コールサイン	QSO日時 (UTC)	バンド	モード (サブモード)	カントリー	AG	RST, コメント	処理
	DJ9FBA	18May2021 09:38	17M FT8		GERMANY	<u>Y</u> -10		<input type="checkbox"/> Archive

(What are these buttons?)

QSO登録の都度自動送信

チェックがあれば、

QSO登録の都度自動送信

eQSL ADIへ自動追加登録

登録(F8)

ボタンクリックや FTモードでの **コールサイン自動取込の都度**

前ページの **直接送信** ボタンが実行されます。

その都度送信される確認メッセージが煩わしい場合はこのチェックを外して右上の様に設定ください。
(詳細は、次の5ページ)

未送信データ抽出
ADIFファイル作成

ADIFファイルからの一括取込

EQSLからの取り込みは月単位などの取り込みが出来ずアップしている全てのデータからの取り込みのみとなります。そのため、7千件程度あると2分程度かかりますので高速化のために必要な月のみを取り込むと作業が早く終わります。ただし、QSO相手が古いデータを登録した場合はヒットしなくなります。



コンファーム済? Only Unconfirmed

Search

Note: このアカウントでは、下記の期間に該当するeQSLだけを表示しています:

11-Sep-1964 00:00 - 31-Dec-2030 00:00

この期間の変更や修正が必要でしたら、[My Profile](#)に進んで下さい。

Inbox+Archive内の全データをADIF形式でダウンロードするには[こちら](#) (他のログソフトへの移行用)

指定した「**.ADI (ADIFファイル)」から一括受領処理を行います。

e Q S Lから取り込んだA D I Fファイルで日付 (20**/**/** まで)、モード、周波数が一致したものを登録します。
これらの一部が不一致の場合は「eQSL_CHK.TXT」に出力されます。
新規に受領登録「R」をした場合は「eQSL_Up.TXT」に出力されます。
選択したファイルは「ファイル内容確認」フォルダーに表示されています。

処理はe Q S L. C Cから取り込んだ全件数分を1件ずつ検索しながら処理しますので、相当な時間が必要になります。

e Q S L. C C側の処理を行うものではありません。

e Q S L. C C側からの出力は毎回全件数出力が行われ無駄な作業が多くなります。

そのため、このボタンでの処理はあまりお勧めできません。

※ 実施の場合はA D I Fファイルから不要データを取り除いたもので実施してください。

推奨処理方法 (詳細なチェック登録)

e Q S L. C Cに接続して「受信トレイ」を処理しながらB G A L O Gの「EQSL一致 文字記入」ボタンにより登録を行うとより正しく、画像等の処理も同時に行うことができます。

D X C CにカウントされないためにD X C Cカントリーリストへは登録しません。

業務日誌の「e」欄へ「E」記号を書き込むのみです。

開始後は「終了メッセージ」が表示されるまで他の作業を行わないでください。

次ページ (7~9) に具体的な処理を記載しています。



ADI ファイルからの一括取込

具体的処理 大量に登録されているものを一括でヒット処理を行うものです。
自局のデータは全て送信済を前提に記載しています。

未送信データ抽出
ADIFファイル作成

データの取り込み：

e Q S L からは登録データを一括で送信してきますのでその中から必要なデータのみを取り出す必要が有ります。



インボックスへ接続し、最下行にある次の「こちら」をクリックします。

Inbox+Archive内の全データをADIF形式でダウンロードするには [こちら](#) (他のログソフトへの移行用)

右の [adi_file] を選択

過去の登録されたすべてが表示されます。

全てor必要なファイル部分を選択しクリップボードへコピーします。
(マウスの右クリックでコピーをします。)

```
<CALL:5>CT3MD<QSO_DATE:8:D>20240118<TIME_ON:4>0358<BAND:3>
<CALL:4>UA9C<QSO_DATE:8:D>20240118<TIME_ON:4>0400<BAND:3>
<CALL:4>AI0Y<QSO_DATE:8:D>20240118<TIME_ON:4>0430<BAND:3>
<CALL:6>RA0ZIH<QSO_DATE:8:D>20240118<TIME_ON:4>0527<BAND:3>
<CALL:5>Y08BC<QSO_DATE:8:D>20240118<TIME_ON:4>0611<BAND:3>
```

2回目以降は前回の取得後の日付からを選択
ここは、相手局が登録した日ではないので前回
登録より前の日付から取り込んでください。
時間があればすべてでも o k です。

[次ページへ](#)

Your ADIF log file has been built

(Super Fast Version)
There were 9222 records
The last one was uploaded on 25-Jan-2024 at 21:31Z

Click one of the following to download it to your computer:

- [.ADI file](#)
- [.TXT file](#)

```
Received eQSLs for JA5BGA
for QSOs between 11-Sep-1964 and 31-Dec-2030
Generated on Friday, January 26, 2024 at 01:41:53 AM UTC
<PROGRAMID:21>eQSL.cc DownloadInBox
<ADIF_Ver:5>3.1.0
<EOH>
<CALL:6>JA2BAS<QSO_DATE:8:D>19640922<TIME_ON:4>1145<BAND:3>
<CALL:6>JA4CZM<QSO_DATE:8:D>19641013<TIME_ON:4>0835<BAND:3>
<CALL:6>JA2FGL<QSO_DATE:8:D>19641122<TIME_ON:4>0645<BAND:3>
<CALL:6>JA4WMT<QSO_DATE:8:D>19700107<TIME_ON:4>0010<BAND:3>
```

```
<CALL:5>W5KDJ1<QSO_DATE:8:D>20240124<TIME_ON:4>0228<BAND:3>10M<MODE:3>FT8<RST_SE
<CALL:6>VE6NAR<QSO_DATE:8:D>20240124<TIME_ON:4>0237<BAND:3>10M<MODE:3>FT8<RST_S
<CALL:6>KK7OWQ<QSO_DATE:8:D>20240124<TIME_ON:4>0242<BAND:3>10M<MODE:3>FT8<RST_S
<CALL:5>LU2BR<QSO_DATE:8:D>20240124<TIME_ON:4>0243<BAND:3>10M<MODE:3>FT8<RST_SE
<CALL:6>ZL1GMW<QSO_DATE:8:D>20240125<TIME_ON:4>0610<BAND:3>15M<MODE:3>FT8<RST_S
<CALL:5>LU7DZ<QSO_DATE:8:D>20240125<TIME_ON:4>0617<BAND:3>10M<MODE:3>FT8<RST_SE
<CALL:5>A41CK<QSO_DATE:8:D>20240125<TIME_ON:4>0804<BAND:3>10M<MODE:3>FT8<RST_SE
<CALL:6>DL1BBO<QSO_DATE:8:D>20240125<TIME_ON:4>0818<BAND:3>10M<MODE:3>FT8<RST_S
```

データを A D I ファイルとして取り込み：

クリップボードに取り込まれたデータを A D I として取り込まなければなりません。
ノートパットやワードなどを開いてそこへ貼り付けをしてください。

(注意点として日本語に変換しないでください。)

貼り付け後はファイル名を適宜つけてデスクトップ等へ保存してください。

保存時のファイル名は (日付等適宜名 .adi) としてください。 例：Received eQSLs for JA5BGA.adi

A D I ファイルからの取り込み

ADI ファイルからの一括取込

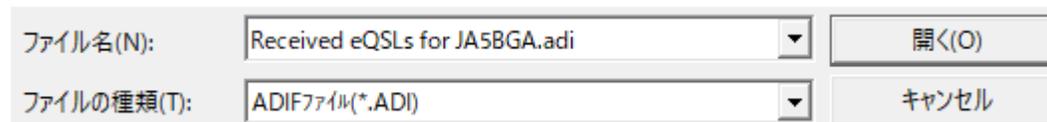
ボタンをクリック ⇒ 注意書きを確認 ⇒ 実行 (はい)

ファイル名を指定して選択

データ量に応じてかなりな時間がかかります。

(注意) 開始後は途中で停止しないでください。

以上で e 欄に [R] が書き込まれて B G A L O G への取り込みは完了です。



T	R	L	e	
/		L	E	LOT
/		L	R	LOT
/		L	E	
/		L	R	LOT
/		L	E	LOT
/		L	R	LOT

ヒットした場合
[R] 書込み

BGALOGで作成されるファイル

eQSL_CHK.TXT (作業に失敗したデータ一覧)

自局では未登録ですが、相手側が Q S O 済として eQSL に登録したものです。

MA331OSWL	2023/05/07 10:00 21.	FT8	-03	I091SK	コールサイン未登録
F-21716	2023/05/16 08:33 21.	FT8	-25	JN15MS	コールサイン未登録
UR1294SWL	2023/06/06 12:07 18.	FT8	-7	KN88XA	コールサイン未登録
I1-21171	2023/06/08 09:10 18.	FT8	-9	JN35TB	コールサイン未登録
R9A-2530	2023/06/15 02:19 21.	FT8	-17	MO05BB	コールサイン未登録
HB9026SWL	2023/09/30 06:35 28.	FT8	-19	JN46LC	コールサイン未登録
R9J-104	2023/10/25 07:02 14.	FT8	-7	MP80HW	コールサイン未登録
IZ0UIJ	2023/12/27 08:17 21.	FT4	-02	JN62MK	コールサイン未登録
R3L-014	2024/01/03 06:57 18.	FT8	-17	K055SG	コールサイン未登録
UY3LV	2024/01/03 09:23 14.	FT4	-03		コールサイン未登録
YT1T	2024/01/03 12:04 14.	FT8	-23	JN94US	コールサイン未登録
UA4153SWL	2024/01/10 07:56 28.	FT8	+01	LO43PM	コールサイン未登録
KM6COB	2024/01/11 03:35 14.	FT8	-17	DM03	コールサイン未登録
DK9LO	2024/01/14 07:42 28.	FT8	-19	JO44TU	コールサイン未登録

整合に失敗した場合

e Q S L 側での処理 次ページ

e Q S L 側の処理

アンマッチ等のデータを事前に処理します。

交信が成立していないデータ等についてはチェック（整合等）が必要ですが、あまりにも多い場合は無視する方法もあります。

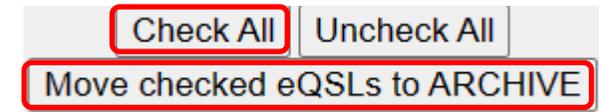
インボックスの内容をアーカイブに移動処理

相手局に確認済処理としてインボックスからアーカイブへ次により移動処理をします。

全てをチェック済にする

[Check All] をクリック

[Move checked eQSLs to ARCHIVE] をクリック



以上で終了です。

コメント

アーカイブに移してもインボックスのみの取り出しは e Q S L 側に機能が無いために実施出来ません。

データ量が少ない場合はコツコツと整合処理を実施するしかありません。

データ量が多い場合は前回の取り込み日より前にして一括処理をして重複取込を行ってください。

（BGALOG側では処理時間が増えるのみで重複は無視をしますので問題はありません。）

eQSL側 1 万件の処理を行うには b g a l o g 内データ 3 万件の場合で 1 0 分以上かかると思います。

（PCの性能により異なります。）

以上です。

未送信データ抽出 ADIFファイル作成

未送信「(E)欄がスペース」のデータを一括して「eQSL.ADI」へ追加処理を行います。

既に、「eQSL.ADI」が存在する場合：削除確認が出ます。
(存在しない場合は確認画面は表示されません。)

既に、登録済のデータの場合は、削除してから取り込んでください。
P-5の自動登録を行っている方は「eQSL.ADI」ファイルアップロード**終了後**、に「eQSL.ADI」ファイルを削除)してください。

もし、削除を忘れた場合は、[eQSL.cc]へ重複アップロードとなります。
この重複は直接削除ができます。(不要な部分を行単位で削除でok)

削除等確認

[目次へ](#)

新たに [1] 件の新規データがありました。
既に作成済のデータがあります。
この作成済データに未送信データを追加しますか？

- はい = 現在のファイルに抽出した未送信ファイルを追加する
- いいえ = 作成済のファイルを削除して新規に登録
- キャンセル = 作業を中止して戻る

注意：eQSLへの送信制限は1回につきMAX5000件

はい(Y) いいえ(N) キャンセル



PC > ローカルディスク (C:) > BGALOG >

TEXT	DATE/TIME	DESCRIPTION	SIZE
M eQSL.ADI	2021/05/20 16:23	ADI ファイル	1 KB
M BGAM&N&GFR TXT	2021/05/20 09:00	テキストファイル	206 KB

STEP 1: アップロードするADIFファイル:
 eQSL.ADI

STEP 2: WSJT-X: Import COMMENTS? (What is this?)

Notes
eQSL ADIF Log Compatible
[ここを押してください](#) ←こちらにADIF形式が利用可能なロギングソフトの一覧や使用し

左ボタンクリック時
自動QSL未発行処理

EQSL [R] 受領処理

★ ヒット済のデータ処理時にカードを未送信とします。
[EQSL[R]受領処理] ボタンにて [eQSL欄] に [R] 登録時に [カード発行T欄] がスペース、のものについて [カード発行T欄] へ [/] を書き込みます。

左ボタンクリック時
自動QSL未発行処理

チェックが の場合「QSLT」欄に [/] を入れてカードを未発行とします。

[eQSL.cc] がヒットすると交信済として扱いたい場合にチェックを入れます。

呼号	T	R	L	e	
AS-25	/		L	R	
AS-25			L	E	LOTW=OK
AS-25	/		L	R	
AS-25	/		L	R	
AS-25	/		R	R	LOTW=OK

E Q S Lにヒットしているが「Q S L T」欄に [/] が未記入のものを抽出して未発行とします。

次のように書き換え確認が出ます。

はい
自動書き換え

いいえ
手動修正

キャンセル
何もしないでリフレッシュ
を実施

住所	マネージャ	P	ゾーン	T	R	L	e	備考1	IOTA	JCC	GL
和歌山市			AS-25		R	R	R	LOTW=OK BORN=1964	AS-007	2601	PM740F
加茂市			AS-25		R	R	R	LOTW=NO BORN=1940	AS-007	0809	PM97MF

未発行処理確認 ×

 抽出済の [2] 件のデータのQSL [T] 欄に未発行記号 [/] とします。
実施後は元に戻せません。

実施しますか？

はい = T欄を「/」に書き換え
 いいえ = 未書換（手作業訂正実施のため未処理終了）
 キャンセル = 処理を中止してソートに戻す

※ いいえにより手作業で「T」欄を「/」に書き換えを行うと
 検索条件外となり抽出画面から消えます。

画像取込 処理

L [R] 受領処理

送信 ADIFファイル

登録の履歴自動送信

ADIF自動追加登録

ファイルからの一括取込

送信データ抽出 ADIFファイル作成

移動地 コンテスト番号 0

左ボタンクリック時 自動QSL未発行処理

eQSLヒット局QSL未発行

eQSL.cc 接続

画像一括取込処理

業務日誌 取込、等

注意： 

次の画面に接続します。



画像データの自動登録処理

[C:¥QSLCARD¥TEMP] にコールサイン名で取り込まれた画像をファイル名等を変換して [C:¥QSLCARD] フォルダに取り込みます。

C:¥QSLCARD¥TEMP にコールサインをつけて取り込みます。



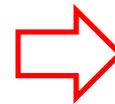
画像一括取込処理

クリックで

次の様に自動的にファイル名が変更されて C:¥QSLCARD フォルダへ取り込まれます。



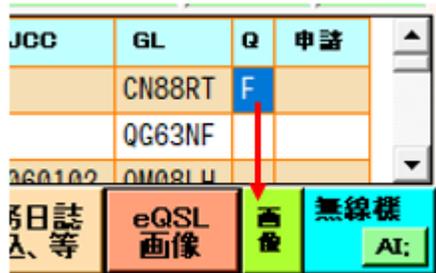
F クリック選択後画像ボタンで
画像が表示されます。



画像表示可能ボタンの例

[目次へ](#)

F、Jの文字 + 画像ボタン



P文字が黄色の場合DXCC番号から表示



[メイン画面全体マニュアル](#)

画像関係は [メイン画面全体マニュアル](#) の次ページ参照
 P-71 e Q S L の活用 (e Q S L, C C と の 連 携)
 P-72 Q S L カード管理
 P-73 画像の表示、取り込み
 P-74 e Q S L 関連画面、
 P-75 e Q S L (画像、ファイル作成) 処理

F = DX局、J = JA局

次の各リストファイルの **[Photo]** の文字をクリック

アフリック	DXno	ゾーン	エンティティ	GL	Time	KM	SP	LP	MIX	SSB	CW	DIG	19	35	7	10	14	18	21	24	28	50	Photo
HR	080	NA-7	HONDURAS	EK64JA	-15	12616	51	231	R	R	R	R		R	R	R	R	T	R	R	R		Photo
HS	387	AS-26	THAILAND	NK98MM	-2	4616	248	68	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	T	Photo
HV	295	EU-15	VATICAN CITY	IN61FH	-8	9872	324	144	R	R	R	T				T	R	R	R	R	R		Photo

IOTAno	IOTA名	QSO Callsign	DXCCno	PRE	Photo
AS-144	XZ Tenasserim Region South group	XZ0A	309	XZ	Photo
AS-165	XZ Arakan Region group	XY0TA	309	XZ	Photo

JCC番号	市町村カナ名	JCCname	記事	MIX	SSB	CW	RTTY	FM	1.	3.	7	10	14	18	21	24	28	50	144	430	1200	Photo
010101	サッポロ市中央区	札幌市中央区		R	R	R	R					R		R	R							Photo
010102	サッポロ市北区	札幌市北区		R	R		R					R	R	T	R	T	T	R				Photo

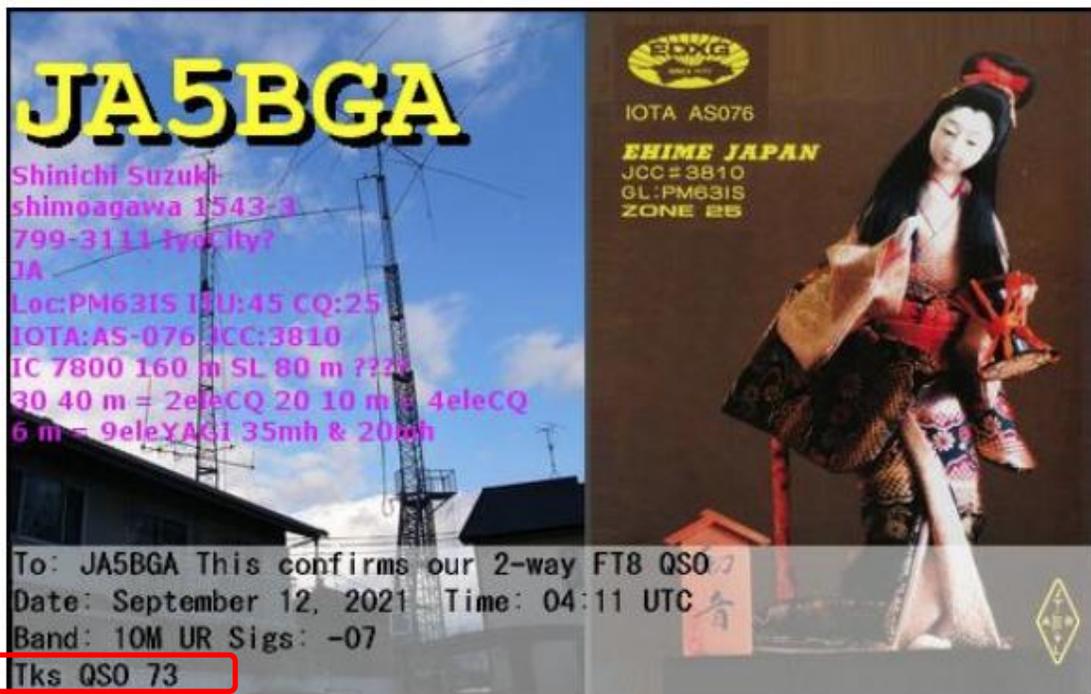
ADIFファイルへコメント添付

[目次へ](#)

環境設定に直接書き込んでください。

00050010	EQSL_COMENT	Tks QSO 73	EQSL等への送信データにメッセージを送ります。0=未送信、スペース以外の文字はEQSLへ送信します。コマンドは<QSLMSG:**>を使用します。
----------	-------------	------------	--

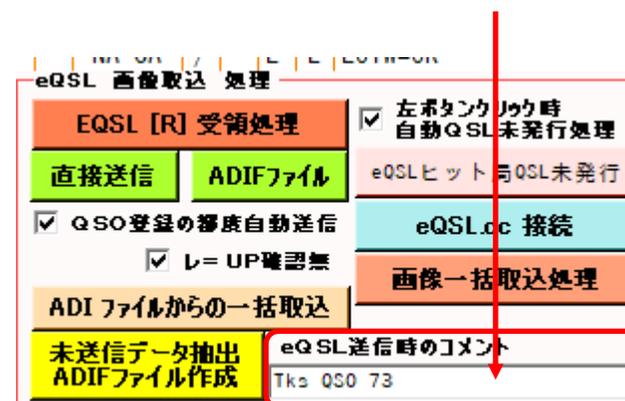
記入時の表示例



コメント欄にも表示されます。

	JA5BGA	12Sep2021 04:11	10M FT8	JAPAN	Y	-07 Tks QSO 73
--	--------	--------------------	---------	-------	---	-------------------

起動初期には次の様にメッセージが表示されます。
固定表示とする場合は環境設定へ登録する必要がありますが、
一時的に変更したい場合はここを修正してください。



全てのADIFファイルにコマンドとデータが追加されます。
この場所からは変更できません。(参考表示となります)

